



成隣だより

平成24年 4月6日
第 1 号
昭島市立成隣小学校
校長 石井 登志枝

ご入学・ご進級 おめでとうございます！

校 長 石井 登志枝

幸い、先日の“春の嵐”が桜の開花前でしたので、本日の始業式・入学式には、美しい桜の花を見ることができました。桜の花が咲く風景は、“日本の春”の象徴です。例年より遅い開花のため、しばらくこの美しさを楽しむことができそうです。

3月23日に60名の子供たちが卒業し、本日60名のかわいい1年生が入学しました。ぴったり同数でしたので、児童数385名は変わることなく平成24年度のスタートとなりました。入学式前日の5日には、新6年生が最高学年としての仕事を意欲的に行い、すべての準備が整いました。きびきびと働く姿に、成隣小学校がこれまで以上に素晴らしい学校になる事への期待が大きくふくらみました。

かわいい1年生から責任感あふれる6年生まで385名の子供たち一人一人を大切にし、すべての子供たちが満足できる学校生活を送り、大きく成長できるよう教職員40名が一丸となって、教育活動に専念して参ります。本年度も多くの方々のお力をお借りできれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度までは、算数を中心として考える力を高めるよう問題解決型の授業展開を工夫してきました。今年度は、国語を中心とし、「ことば」を大切にし、読みを深め、話し合いを高める授業の工夫をしていきます。それぞれの思いや心を伝える手段は、ことばと表情、そして態度でしかありません。1時間1時間の授業を大切に学校目標を達成して参ります。

学校の教育目標は、

- ◎進んで学ぶ子（知） 目標をもち、よく考え、意欲をもって最後まで努力する
- 心豊かな子（徳） 相手の気持ちを考え、互いを大切にし、認め合い、助け合う
- たくましい子（体） 心と体を鍛え、健康で明るい生活を送る

とし、知・徳・体のバランスの取れた子供たちの育成に努めていきます。教職員一人一人の知恵と力を組織の力とし、誠実に、確実な一歩を踏み出します。

1 子供一人一人のよさを認め、自分と他の人を大切にする心豊かで健康な子供を育てる学校

- (1) 子供とのふれあいを多くし、子供理解に努める。
- (2) 相手の気持ちを考え、互いを大切にする心を育成し、主体的に活躍できる場を設定する。
- (3) 集団生活を通して、基本的な生活習慣・規範意識を身に付け、たくましい体をつくる。

2 未来を担う子供たちに必要な主体的に学ぶ意欲や基礎的・基本的な知識、それらを活用する力などを確実に身に付けさせる学校

- (1) 自ら学ぶ意欲や学び方を身に付けさせ、基礎・基本の確実な定着と活用力を高める。
- (2) 自分の良さを知り意欲的・創造的に活動し、生涯学び続けるための基礎を身に付ける。

3 教職員が組織的に教育活動を実践し、互いに協力し子供たちのために力を尽くす学校

- (1) 組織的に指導力を磨き、日々の学び合い、高め合いにより児童一人一人の学力向上を図る授業を展開する。
- (2) 教育課程に基づいた教育計画の確実な実施のため、合理的・効果的な組織運営をする。

4 家庭や地域社会とともに歩む学校

- (1) 学校を開き、信頼を基盤とした家庭・地域との連携を図る。
- (2) 地域行事やPTA活動に積極的に参加し、保護者・地域との連携の中で子供たちの健全育成に努める。